

教科	書写	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 はじめの学習 ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方	用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。 用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方が身についている。 これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。	用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さあしを考えている。 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。	用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を確かめようとしている。 他の書写場面でも、よい姿勢、筆の持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。
2 文字の大きさと配列 『歩む』	用紙に対する文字の大きさと配列について理解している。 用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書いている。	用紙に対する文字の適切な大きさと配列について考えている。	他の文字や硬筆でも、用紙全体に対する文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
3 文字の組み立て方(三つの部分) 『湖』	三つの部分の幅の違いと点画の形の変化について理解している。 三つの部分の組み立て方に気をつけて書いている。	三つの部分の組み立て方について考えている。	三つの部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
<硬筆の学習> 文字の組み立て方(左右、上下、中と外)	左右、上下、中と外の組み立て方について理解している。 左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて書いている。	左右、上下、中と外の部分の組み立て方について考えている。	左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。
4 文字の大きさと配列、点画のつながり 『思いやり』	点画のつながりについて理解している。 配列のポイントについて理解している。 点画のつながりに気をつけて書いている。 用紙に対する文字の大きさに気をつけて、文字の中心を行の中心に揃えて書いている。	点画のつながりについて考えている。 用紙に対する文字の大きさと配列について考えている。	点画のつながりについて関心をもっている。 配列に気をつけて書こうとしている。
5 文字の大きさと配列、点画のつながり(小筆) 『この道や行く人なしに秋の暮』	文字の大きさと配列について理解している。 点画のつながりについて理解している。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえて書いている。 点画のつながりに気をつけて書いている。	用紙全体に対する文字の大きさについて考えている。 点画のつながりについて考えている。	他の文字や硬筆でも、用紙全体に対する文字の大きさや点画のつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。 配列や点画のつながりについて関心をもっている。
■好きな言葉を書く (『実現』『夢』『仲間』『友情』)	これまで学習した配列や字形の整え方について理解している。 自分で選んだめあてに沿ったポイントに気をつけて書いている。	6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。	6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを設定し、書こうとしている。 他の学習場面においても、字形の整え方や文字の大きさに気をつけて、配列よく書こうとする意識をもっている。
書きぞめ 『理想』 『伝統を守る』	B:書きぞめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書いている。 A:書きぞめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について、よく理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて、配列よく書いている。 支援:教科書で学習した文字の組み立て方のポイントについて振り返ることで、確かめられるようにする。 書きぞめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。 外形を考えることで、文字の大きさについて確かめられるようにする。	B:書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。 A:書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良さあしを考えている。 支援:姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。	B:書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A:書きぞめに関心をもち、積極的に書こうとしている。 常に姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援:書きぞめの由来を説明し、書きぞめについて関心が高まるようにする。 書写の授業以外でも、姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書くよう呼びかける。
6 学習のまとめ 『旅立ちの時』	これまで学習した内容について理解している。 これまで学習したことを生かして、自分の課題に気をつけて書いている。 文字の大きさや配列に気をつけて書いている。	1年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。 文字の大きさや配列に気をつけて書こうとしている。	1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確かめようとしている。 他の学習場面でも、文字の大きさや配列など、これまで学習したことに気をつけて書こうとする意識をもっている。